

令和6年度 府中市郷土の森博物館 プラネタリウム学習投映のご案内（市外中学校向け）

1. 投映期間

令和6年9月3日（火）～ 令和7年3月21日（金）

※上記期間の平日（ただし、期間中でも都合により予約をお受けできないことがあります。）

※博物館休館日及び学校長期休業中は除く。休館日はホームページなどをご覧ください。

※令和6年7月19日までは博物館本館改修工事のため、休映予定です。工事の関係により、スケジュールが変更になる場合があります。お申込み時にご確認ください。

2. 時間帯

①10:00～ ②11:30～ ③13:00～ ④14:15～ ⑤15:30～ 各回約45分

【予約可能時間帯と期間】

(1) 9月3日～9月13日、10月8日～1月31日、3月12日～3月21日

①～⑤まで全ての時間帯

(2) 9月17日～10月4日、2月3日～3月7日

①、②の時間帯のみ

※一般投映と同じ番組をご希望の場合は、一般のお客様と一緒に観覧いただきます。

※必ず投映開始時刻の10分前にはお手洗いを済ませた状態で、プラネタリウム前にお集まりください。

3. 予約受付

電話でのご予約を随時お受けしています。利用日の1週間前までにお申込みください。

※電話予約受付時間 9:00～17:00

※博物館休館日は除く。

※1回の投映の定員は206名です（令和6年1月現在）。先着順に受付となりますので、お早目にお申込みください。

※予約状況によっては、ご希望に沿えないこともあります。

※人数の都合により、他校と一緒に観覧いただく場合があります。

4. 投映内容

「太陽・月・星についての復習と宇宙旅行」

「天体の動きと地球の自転・公転」

「南半球での星座の見え方と天体の動き」

5. プラネタリウム観覧料（30人以上の団体料金）

大人720円、中学生以下360円（博物館入場料：大人240円、中学生以下120円を含む）

6. お問い合わせ先

予約受付 府中市郷土の森博物館 庶務係

投映内容 府中市郷土の森博物館 学芸グループ 天文企画・交流係

TEL:042-368-7921 FAX:042-360-8217

「太陽・月・星についての復習と宇宙旅行」(約45分間)

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学習した太陽・月・星についての復習を行う。 ・宇宙旅行に行き、さまざまな天体を見ることで、中学3年「太陽系と銀河系」の学習へつなげる。 ・星や宇宙への興味関心を高める。
<p>放映内容</p>	<p>学習の流れ及び学習内容</p>
<p>1. 方位確認 (小学3年生の復習)</p> <p>2. 太陽と月の動き (小学3、4年生の復習)</p> <p>3. 太陽と月の表面の様子 (小学6年生の復習)</p> <p>4. 月の形と太陽の位置 (小学4、6年生の復習)</p> <p>5. 今夜の星空 (小学4年生の復習)</p> <p>6. 星の動き (小学4年生の復習)</p> <p>7. 宇宙旅行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方位の確認。 ・小学校で学習したことを確認しながら、太陽も月も東から昇り、西へ沈んでいく様子を観察する。 ・太陽と月の表面の様子を観察しながら比較する。 ・日没後、同時刻に「月齢3」の月とその4日後の月を観察し、月の形の見え方と太陽の位置関係を復習する。 ・宇宙空間から俯瞰して「月の満ち欠けの仕組み」を探る。 ・季節の星座を探す。 例：夏の大三角（はくちょう座、こと座、わし座） さそり座 秋の四辺形（ペガスス座） 冬の大三角（オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座） ・星の明るさ、色の違いを確認する。 ・北極星の探し方を確認する。 ・目印となる星の並びに注目し、時間が経っても星の並びは変わらないことを観察する。 ・星の動きを観察する。 ・宇宙旅行でさまざまな天体を見る。

「天体の動きと地球の自転・公転」(約45分間)

ね ら い	義務教育の間に身に着けて欲しい天文に関する知識を、プラネタリウムの機能を使い、時間的・空間的な関係を捉えさせながら、天体の運動や現象の客観性を体感させる。	
	<p>放映内容</p>	<p>学習の流れ及び学習内容</p>
	<p>1. 方位確認</p> <p>2. 天体の日周運動</p> <p>3. 地球の自転</p> <p>4. 地球の公転</p> <p>5. 季節の変化</p> <p>6. 季節の星座</p> <p>7. 宇宙のひろがり</p> <p>8. 今夜の星空紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方位の確認 ・小学校理科で学習したことを確認しながら、天体(太陽、月、恒星)が日周運動する様子を観察する。 ・「南中」「天球」などの用語を押さえる。 ・CG映像で地球の自転を確認し、日周運動と結びつける。 ・自分が地球になったつもりで、星の日周運動を観察し、自転を意識する。 ・CG映像で太陽の回りを地球が公転する様子を確認して“地球は自転をしながら公転している”ということを視覚的にとらえる。 ・季節の変化は、地球が地軸を傾けたまま太陽のまわりを公転しているために生じることを、春分、夏至、秋分、冬至での太陽の南中高度を比べながら確認する。 ・1年を通して、見られる星座がどのように変化するのか観察する。 ・地球の公転運動と夜空に見える星座の移り変わりを、宇宙空間からの視点で見ながら関連付ける。 ・「星の年周運動」や天球上での太陽の通り道「黄道」を知る。 ・地球から深宇宙への視点移動を行いながら、宇宙の広がりについて知る。 ・学習投映実施日の夜、府中で見える季節の星座を紹介。

「南半球での星座の見え方と天体の動き」(約45分間)

ね ら い	北半球と南半球の星座の見え方の違いや天体の動きの違いを知ること、星空への興味関心を高める。	
	<p>放映内容</p>	<p>学習の流れ及び学習内容</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドーム空間の確認 2. 天体の日周運動 3. 地球の自転 4. 日本での星座紹介 5. 赤道での星座の見え方 6. ニュージーランドでの星座の見え方 7. 南半球の星座探し(星図) 8. 南半球での日周運動の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・天球、天頂、子午線、方位の確認。 ・太陽、月、恒星の「日周運動」を確認する。 ・宇宙から地球を俯瞰して見て、動いているのは恒星ではなく地球であることを確認する。 ・地球の自転と日周運動とを結びつける。 ・日本で見られるその季節の星座を紹介。 ・日本で見た星座が赤道ではどう見えるのか確認する。 ・日本で見た星座がニュージーランドではどう見えるのか確認する。 ・星図を使った星座探しを行う。 ・地球の自転により南半球の南の空の星は、天の南極を中心に時計回りに動くこと、月と太陽は東から昇り、北の空を通過して西に沈むことを観察する。